

LR解析アルゴリズム

入力： 記号列 ω

出力： もし $\omega \in L(G)$ ならば、 ω の**最右導出**を出力
さもなければ、**エラー**を出力

初期状態： 入力記号列には $\omega\$$ をおく
スタックには初期状態を表す記号0をおく。

アルゴリズム：

```
for ( ;; ) {  
     $t$ をスタックのトップの状態とし、 $a$ を入力記号列のトップの記号とする；  
    if (  $action[t, a] == s_x$  ) {  
        動作欄に  $s_x$  と記述する；  
         $x$  をスタックへプッシュ（追加）する；  
         $a$  を入力記号列からポップ（除去）する；  
    } else if (  $action[t, a] == r_{A \rightarrow u}$  ) {  
        動作欄に  $r_{A \rightarrow u}$  を記述する；  
         $|u|$  個の状態をスタックからポップする（ $|u|$ は $u$ の長さ）；  
         $t$  を新たなスタックのトップの状態とする；  
         $goto[t, A]$  をスタックへプッシュする；  
        入力記号列はそのままとする；  
    } else if (  $action[t, a] == acc$  ) {  
        動作欄に  $acc$  と記述する；  
        break；  
    } else {  
        動作欄に エラー と記述する；  
        break；  
    }  
}
```